

派遣留学生帰国報告書

記入日	2022/7/4
所属学部・ 研究科・学府	千葉大学 大学院
所属学科・専攻	融合理工学府創成工学科デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	韓国 延世大学 大学院							
留学先所属学部等	Visual communication design							
留学期間	出発日	入学日	修了日	2022/6/21	帰国日	2022/6/30		
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>				その他()
	通学時間						On campus	<input type="radio"/>
	通学方法							
	居室スペース	個室	(2)	人部屋	その他()			
	共有スペース	完全個室	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	バス	リビング	その他()
食事	自炊	%	学食	%	外食	80 %	その他 20 % (コンビニ)	
保険	海外旅行保険(名称)	JTBトータルサポートプログラム						
	留学先国・大学指定 の保険(名称)	国民健康保険					<input checked="" type="checkbox"/> 加入必須	
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄		仁川国際空港(飛行機)			⇄ 原州(電車)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	65万 円						
出どころ							
自費	貯金	0 円	アルバイト	20万 円	その他 円		
援助	親	24万 円	家族・親戚	円	その他 円		
奨学金	JASSO	21万 円	その他名称()				円
その他	その他()						円

2-1. お金の管理

渡航時	<input type="radio"/>	現金	10万 円	その他()	円
留学中		海外送金	<input type="radio"/>	キャッシング	その他()

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	銀行振込
住居にかかった費用	銀行振込
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			6万5千	円
JTBトータルサポートプログラム(海外旅行保険・危機管理サービス)			10万	円
その他の保険料	ウォン	150,000	約15000	円
査証・在留許可証	ウォン	20,000	約2000	円
住居	ウォン	1,200,000	約120000	円
光熱費		住居費に込み		円
食費	ウォン	1,000,000	約100000	円
通学に要する交通費		徒歩圏内だったためなし		円
教科書、教材費	ウォン	10,000	約10000	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (隔離費用)	ウォン	250,000	約25000	円
その他 (PCR検査費用)	ウォン	100,000	約10000	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無		
1 SOCIAL DESIGN(1)	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
2 VISUAL COMMUNICATIONS DESIGN(2)	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
3 VISUAL DESIGN SEMINAR 1	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
4 VISUAL LANGUAGE RESEARCH	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
5 BEGINNING KOREAN CONVERSATION	正規	3	<input type="radio"/>	有	無
6			<input type="radio"/>	有	無
7			<input type="radio"/>	有	無
8			<input type="radio"/>	有	無
9			<input type="radio"/>	有	無
10			<input type="radio"/>	有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

学部の授業は現地のコーディネーターの方からメールで詳細が送られてくるので、それに従って延世のポータルで履修授業を登録します。大学院の授業はポータルで登録できないため、まず先生方と話し合っ
て履修授業を決めて、研究室のキャンパスアジア担当の方と一緒に登録しました。

3-2. 授業内容、方法に関して

韓国語会話初級は英語での授業です。しかし、中級～上級は韓国語で行われます。また、デザインの授業は全て韓国語で行われるので、言語の壁は結構大変でしたが、プレゼン形式の授業が多かったため、翻訳を活用したり、友達や先生と英語でコミュニケーションすることでなんとか意思疎通をとっていました。留学生が少ないコースだったため、先生と手探りで進めていきました。

3-3. 語学力について

留学生専用のコースがあって、そのコースにはいろいろな国籍の方がいたので英語でコミュニケーションして交流したりしました。韓国人の学生も英語が流暢な子が、留学生と積極的に交流している印象があって、そこから仲良くなって遊んだ子もいました。しかし、デザインコースの授業は全て韓国語で行われたため授業の理解に苦労しました。しかし私個人のプレゼンは英語で発表し、先生との会話も全部英語でサポートが手厚かったため、授業に置いていかれることはなかったです。

3-4. 図書館など学内施設について

キャンパスは自然豊かですごく広くて綺麗でした。図書館も夜遅くまで空いていて、学生が熱心に勉強できる環境でした。また私は普段は研究室で作業していたのですが、研究室も学生のみんが普段作業していて、毎日夜ご飯一緒に食べたりして楽しかったです！

3-5. その他

--

4. 生活面

4-1. 住居について

寮に住んでいました。授業期間はセヨンという寮に住んでいて、夏休み始まって帰国までの1週間くらいはチョンヨンにいました。チョンヨンが一番寮費が高いのですが、絶対チョンヨンに住んだほうがいいと思います。綺麗だし、トイレとお風呂別々にあるし、一階にコンビニがあるのが便利でした。でも、私のキャンパスからは少し遠いのが難点ですが…ルームメイトは、留学課が気を遣って考えてくれたので、日本人の子でした。

4-2. 食生活について

共同の台所にコンロが2つしかなく、いつも混雑していたので自炊はしませんでした。研究室の子で仲良い子がいつも車で外食に連れて行ってくれたので、夜はほぼ外食でした。お昼は学食や、学内のコンビニやカフェで買ったりして食べていました。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

寮のネット接続の設定は、事前に配られた案内資料に書かれています。Wi-fiのルーターは大学内の購買で1つ4000円ぐらいで買った気がします。携帯電話は、ソウル携帯ナビで契約しました。便利で安かったのでおすすめです。

4-4. 服装について

日本と変わらない服装で大丈夫です。でも冬は2.3月はかなり寒いのでヒートテック必須ですが、寮の中はめっちゃくちゃあったかいので外に出なければ問題ないです。

4-5. 健康管理について

日本から大量の薬を持って行ったので、風邪ひいた時はそれを飲んでいました。コロナにかかった人も、隔離場所が学内にちゃんと確保してあって食事も提供してもらえるので、安心できると思います。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

韓国で歯が欠けて歯医者に行ったのですが、留学生トータルサポートプログラムの保険が降りなかったため、父の会社の海外保険から15000円保証してもらいました。それ以外の保険の利用はありませんでした。

【追記】

留学生トータルサポートプログラムには、歯科治療込みのプランもあります。加入される際にご確認ください。

4-7. 課外活動について

留学生専用の韓国文化体験の授業があつて、そこで韓国文化を体験したり遊園地に行ったりしたので、楽しかったです。そこに参加している留学生はとてフレンドリーで穏やかな感じで自由に交流できたので楽しかったです。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし

4-9. 日本から持参してよかったもの

風邪薬、胃薬、正露丸、バファリン(痛み止め)などの薬類です。
あとは市街にあるオリブヤングで日用品、ソウルなどで洋服は調達できます。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ドライヤーは海外対応のものを持って行ったのですが、謎に壊れて使えなかったためルームメイトのドライヤーを借りていました。あと毛布も現地で借りられます。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

年上に敬意を表す習慣があるので、先生と接する時は常に失礼がないように心がけていました。あとバスで高齢の方が乗ってきた際は席を立ててゆずることを意識していました。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

ソウルには月に2回ほど遊びに行っていました。買い物や美術館鑑賞など(電車で1時間ほど)
釜山には6月下旬、2泊3日、バスで行きました。(片道3時間くらい)

<千葉大学からの旅行許可を得るまで、以下の手順を踏まえる必要あり>
国内旅行の場合: 事前に指導教員の先生に旅行について相談し、了承を得る。
国外旅行の場合: 指導教員の先生および所属学部から許可を得る。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

キャンパスの自然が好きだったので、それをみて音楽を聴きながら癒されたりしていました。
あとはバレーボールしたりして運動するのも良い気分転換になったし、友達が車を持っていたのでドライブも日頃の課題の多さを忘れられて楽しかったです。

5. その他

5-1. 留学先大学について

キャンパス全体には留学生がたくさんいますが、学科で偏りがあって、視覚デザインコースは留学生は学部の授業は私だけ、大学院の授業も中国人の留学生はオンライン参加だったため、対面授業に参加している学生は私だけでした。でも留学生が少ない分、みんながよく気にかけてくれるのびのびと勉強できたと思います。しかし授業をたくさんとったこともあり、課題が多くて毎日プレゼンづくしでメンタルはめちゃめちゃ鍛えられたと感じます。周りの学生の成果物はともにもビジュアルが洗練されていてレベルが高いと感じました。みんな一生懸命課題に向き合っている感じがしました。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

私はウォンジュのキャンパスにいましたが、ローカルな地域だったため韓国語が理解できないと生活がしにくかったです。韓国に留学したい学生にはソウル周辺の大学がおすすめです。

5-3. 留学を終えて

私は、なんとなく留学したい気持ちとKPOPがとても好きだった訳もあって、日本に近い韓国に留学しましたが、将来に対して前向きに考えられるきっかけになったと感じています。いろいろな人種の留学生にあって、世界の広さを感じることができたし、新たな発見の連続でとても刺激的な毎日でした。この留学を通して、韓国もさらに好きになったし、世界のいろいろな国に行ってみて新しい発見をしたくなりました。またその側面として、日本のことも好きになりました。日本は多様性の考えが他の先進国に比べて遅れていたり、年々経済衰退している国なのであまり好きではなかったのですが、留学に行ってみて、日本の文化が好きな子にたくさん会って、日本の文化の魅力を再確認したり、衛生面のレベルの高さに感動しました。留学に行っただけでひたすら課題をしていたので、言語が上達したわけではなかったけど、長期間外国で生活すること自体に大きな価値と学びがあります。ぜひ留学をしようか迷っている人はチャレンジしてみてください。